

## ご支援くださっている皆さまへ

4月になり、今年も11名が社会人として新たなステージへ踏み出しました。あこがれの保育士として働きだした元支援生からお便りが届きましたのでご紹介します。

5年間、支援生として支援して頂き、充実した学生生活を過ごすことができました。大変感謝しております。おかげ様で高校時代から希望していた職業に就くことができました。よき社会人となるため、精一杯努力します。(ベトナム・女性)

卒業後も、支援生一人ひとりの進路を見守っていきたいと思っております。



社会人となった支援生と共に

## 「貧しい子どものために学校をつくりたい」「野球選手になりたい」 ～輝く夢に向かって歩む若者たち、61名の支援が決定～

皆さまの温かいご支援のおかげで、今年も10カ国につながる生活支援生52名と、坪井支援生9名の就学支援が実施できますことを心より御礼申し上げます。

それぞれのペースで将来に向けて歩む学生たちに寄り添い、今年度もサポートしてまいります。

国籍	人数	学校
カンボジア	2名	高校1名、大学1名
コンゴ	1名	高校1名
中国	4名	高校2名、大学2名
ナイジェリア	2名	短大1名、大学1名
フィリピン	1名	大学1名
ブラジル	5名	高校1名、大学4名
ベトナム	22名	高校13名、専門1名、短大1名、大学6名、大学院1名
ペルー	10名	高校4名、大学3名、大学院3名
ミャンマー	6名	高校6名
日本に帰化(元カンボジア、元韓国、元ベトナム、元ペルー)など	8名	高校3名、大学2名、大学院3名
合計10カ国	61名	高校31名、専門1名、短大2名、大学20名、大学院7名

### 困難に負けず、勉強に励んでいます

母が兄弟3人を育てています。スポーツ推薦で進学しました。将来は就職に有利な商業科で学びたいですが、夢はプロの野球選手です！  
(大学生、ルーツ:ブラジル)

父は毎日、夜中3時まで働いています。なんとか生活保護を受けずに頑張っていますが、親の負担を少しでも減らしたいです。  
(高校生、ルーツ:ベトナム)

アルバイトで学費を払っています。将来は国際機関で、貧しくて勉強できない子どもたちのために学校をつくりたいです。  
(大学生、ルーツ:ペルー)

両親が病気で、通院費と薬代が高いです。弟はまだ小学生なので、私が面倒を見ながら、大学進学に向けて勉強をしています。  
(高校生、ルーツ:ベトナム)

多くの皆さまのお力添えをいただき、昨年度は支援生60名の学びを支えることができました。また、100名を超える応募があったことから、追加支援のためにREADY FOR？プロジェクトを通じてご協力をお願いしましたところ、907,000円もの募金が集まり、5名への支援を追加することができました。改めて深く御礼申し上げます。そのうちのひとり、来春受験を目指す高校生からの感謝の手紙をご紹介します。

## さぼうと21と関わって、変わったこと

高校2年 Tさん(ミャンマー出身)

私は来日した1ヵ月後に、父親に勧められてさぼうと21の学習支援室に通うことになりました。最初はさぼうと21をただ「日本語を教えてくれる場所」だと思っていました。しかし、次第に日本語が上達するにつれて、日本語だけではなく学校の授業で理解しきれなかった部分なども丁寧に教えてくださいました。先生方はとても温かくて、安心して勉強することができました。学習支援室に通い始めて5年、私はさぼうとに出会わなかったらこんなに勉強に重みを置いていなかったかもしれません。

去年の8月、夏期研修会に初めて参加しました。そこでは「仕事」について詳しく知ることができました。知ってるつもりでいたことが違っていたり、全く新しいことを教えてくださったり、私が社会に出ていくうえで必要なことばかりでした。私は医療関係の仕事にとっても関心があるので、医療関係の仕事についてしか、調べたり他人に教えてもらったりしてきませんでした。しかし夏期研修会では様々な職業に就いている方々のお話を聞くことができたのがとても貴重

な経験だったと思っています。例えば、私は3か国語を人よりは話せると信じていました。そのような軽い気持ちで翻訳家の方のお話を聞いたところそんなに簡単なことじゃないと厳しく言われたことが印象に残っています。

また、自分と同じように外国にルーツを持つ同年代の友達や先輩方に出会えたことがとてもよかったと思いました。私は普段ほとんど日本人としか関わってなく、自分の思い、考えなどは口に出さずに彼らに合わせて生活してきました。夏期研修会では自分と同じ環境にいるたくさんの方と本音で話ることができました。私はみんな(日本人)とは違うし、実は一人ではないか、という不安もどこかに飛んでいきました。このような機会を与えてくれたさぼうと21には本当に感謝しています。

私を支援してくださっている皆さまに少しでも恩返しできるように、来年に控えている大学受験を成功させるためにこの一年間一生懸命頑張りたいと思います。

コンヨウイチロウ

## 今洋一郎さんが模範難民に選ばれました



ご受賞、おめでとうございます！

提供：アジア福祉教育財団

今年度、さぼうとの元支援生カンボジア出身の今洋一郎(旧姓：コンキアラ)さんが難民事業本部より模範難民定住者として表彰されました。当会が今さんとお会いしたのは約20年前。今さんと親交の深かった当会の相談員が、当時のことや思い出を語りました。

「来日後、両親や兄弟の大家族で大変苦しい生活を送っていたのですが、向学心に燃え、大学に進学。早朝の新聞配達から、下校時は深夜までいくつものアルバイトをしながら無事卒業しました。大学時代、妹の今サオリさん(既に数年前、同じ賞を受賞)と二人で、群馬県からさぼうとに相談をしに来所した時のことを今も鮮明に覚えています。社会人になってからもいろいろな苦労が多かったと思いますが、彼の真面目で温厚な性格から、地域住民や同胞からの信頼も厚く、家庭でも優しい奥さんと子ども達に囲まれて大変幸せそうな様子でした。

これからも、日本とカンボジアの架け橋となって活躍してくれると信じています。」

# 平成27年度 文化庁委託・日本語教育事業 安心・安全を基盤に、安定と成長に向かって・・・

今年度も、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(A)」を受託し、「日本語教育」「人材育成」「教材作成」の3つの取組を実施することができました。今年度の取り組みにつき、その一部をご紹介します。



「トライ！日本の味」は大好評！

## ● 「体験を通して学ぶ初級日本語講座」

「難民のための導入期日本語教室」は、これまで秋からの1教室だけでしたが、平成27年度は春夏、秋冬に各1教室開講することができました。春夏は、学習者のニーズを考慮して週に4日間の集中授業となりました。夏の暑い盛りも、音をあげず元気に勉強していた受講者の皆さんが、今は日本語で楽しく言葉を交わし、漢字まじりの作文も書けるようになっていきます。日本語が受講者一人一人の世界をぐんと広げたことを実感します。その喜びは振り返りアンケートからもうかがわれます。

「前は言葉が分からなくて、落ち込んでいた時もあったが、今は少し日本語がわかるようになって、リラックスして生活できるようになった」(ミャンマー出身の受講者)



条約難民への定住支援は2003年度に開始され・・・

## ● 「一(いち) 市民として学び、考える「難民」のこと～当事者の言葉を紡ぎながら～」

2月28日(日)の10時から17時、当会の主たる支援対象である「難民」について、改めて学ぶ時間をもたせていただきました。大原晋氏(難民事業本部)、明石純一氏(筑波大学)、大森邦子氏(日本国際社会事業団)の講義に「なるほど」を連発、アンゴラ、イラン、ベトナムにつながる難民の方々の生の声とその生き方に圧倒された一日となりました。

「社会問題全般に興味があり、あれこれ顔を出してきましたが、本日のイベントは『初体験』という印象です。今日のことは一生忘れないでしょう。』(当日参加者)



子どもの教育費・・・なるほど・・・

## ● 「生活力向上応援 BOOK “知っておきたいシリーズ”」

平成26年度から開始した「生活力向上のための参加型講座」の実践に基づき、「生活力向上応援 BOOK “知っておきたいシリーズ”」を作成しました。パワーポイントスライドと、その解説文で構成される教材は、初中級レベルの読解教材としても利用可能です。以下の4つのテーマが完成しています。

- 「知っておきたい日本の年金・医療制度」
- 「知っておきたいわが家の教育費」
- 「知っておきたい確定申告～所得税の申告・納税、還付など～」
- 「知っておきたい日本の税金～所得税・住民税・消費税など～」

教材の作成にあたり、「ワーカーズ・コレクティブ生活クラブ FP の会」の皆さまには、スライド作成、原稿執筆、全体監修と全面的にご協力をいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。

## ■ □ ホームページ「教材バンク」全面リニューアル! ■ □



リニューアルした「教材バンク」トップページ9ジャンルをクリックスすると、様々な教材が出てきます。

気がつけば、ビデオカメラ、パソコン、デジタルカメラ等、学習支援室の活動で大活躍の機材は、その多くを、日本アイ・ビー・エム株式会社 コミュニティ・グランツ・プログラムのご支援で購入させていただいています。コミュニティ・グランツは、IBM 社員や定年退職者が継続的にボランティア活動を実施する非営利団体等に対し、支援を提供するプログラムです。2015年にも IBM 勤務のボランティアの方々が間に入ってくださり、教室活動に利用するためのホワイトボード、情報共有のための大型掲示板、そして、ホームページ「教材バンク」全面リニューアルに、ご支援をいただきました。「教材バンク」のページでは、さぼうと21のオリジナル教材を無料で提供しています。今回のご支援で、日本国内のみならず、世界のあちこちで日本語学習に励む方々が、教材にアクセスしやすくなりました。皆さまもリニューアルされた「教材バンク」ページをぜひ一度お訪ねください。

<http://support21.or.jp/ouractivities/learning-program/top-page/>

～大船渡市の障がい者福祉事業所の再建を目指して～  
3:11被災者のためのチャリティコンサートを開催します

2016年4月27日(水) 18:30開演

会場：紀尾井ホール(東京都千代田区)

出演：村治 佳織・村治 奏一(ギター)・川久保 賜紀(ヴァイオリン)

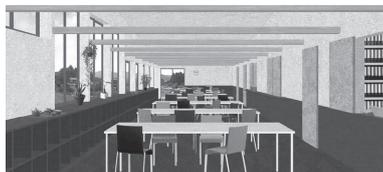
主催：AAR Japan [難民を助ける会] 共催：さぼうと21

特別協賛：日本ロレックス株式会社

震災から5年を経ましたが、甚大な津波被害を受けた地域や原発事故の影響が大きい地域では、未だに多くの方が仮設住宅で暮らしています。課題が山積する被災地への想いを込めて、ギターの村治 佳織さん、村治 奏一さんのご姉弟とヴァイオリンの川久保 賜紀さんが共に演奏します。コンサートに先立ち、村治さん、日本ロレックス(株)のベイリーさんが現地視察をしてくださいました。

コンサートの純益の一部は、津波で作業所等を流失した岩手県大船渡市の障がい者福祉事業所「かたつむり」の再建費用に充てられます。かたつむりは震災直後の困難な状況の中で活動を再開。プレハブ事業所で障がい者約30名の就労支援を続けてきました。しかし、大船渡市の復興計画によって拠点を安全な地域に移さなければならなくなり、サンキョー(株)をはじめとするご支援のもと、2017年3月末までの完成を目指しています。

「障がい者一人ひとりが生き生きと活動できる場所づくり」を実現するために、きめ細かく設計された木造1階建ての建設が、いよいよ始まります。工事の進捗状況は、ウェブサイト <http://fund.katatumuri.jp/> でご覧いただけます。皆さまもぜひ再建プロジェクトにご参加ください。



木の温もりを感じる食堂  
(完成予想図)

Project HEAT 2016

HSBC グループ様からのご支援で、  
生活支援プログラムの内容が充実!

創業150周年を迎えた世界有数の金融グループ HSBC グループ様(香港上海銀行)は、「Project HEAT (経済的に困難な外国にルーツを持つ子どもたちへの支援・寄附事業)」(事務局：特定非営利活動法人 NICE 様)を実施されています。

この度、「キャリア支援」の充実のためにご寄付いただきました。就職や進学間近の学生の支援を手厚くしたり、OB/OGによる「しごと相談会」を開催したりする予定です。

2016年度 会費のご案内

経済的に困難な状況にありながらも、学業に励む学生たちの育成に、本年度も変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

- 年 度：本年4月～翌年3月末まで
- 会 費：5,000円/個人 50,000円/法人



Newsletter

Support21 Social Welfare Foundation

Vol.59 2016.4

社会福祉法人 さぼうと21

理事長 吹浦 忠正

社会福祉法人さぼうと21は…

日本国内で生活するうえで困難をきたしている難民やその家族、在日外国人および元外国籍の人々の相談に乗り、また自立支援活動を行う社会福祉法人です。認定NPO法人難民を助ける会(AAR JAPAN)を母体に、その国内事業を受け継ぎ、厚生省(当時)認可の社会福祉法人として1992年に設立されました。

「困った時はお互い様」をモットーに、日本国内で政治・宗教に中立な立場で活動しています。学業継続のための経済支援を中心に、生活困窮者に対する幅広い生活支援を実施しております。

私たちの活動を応援して下さる方を  
求めています!

- 会 員：法人会費 50,000円  
個人会費 5,000円

■ ご寄付：随時受付

会費・ご寄付とも税法上の優遇措置が受けられます

◆会費・寄付のご送金口座◆

ゆうちょ銀行	振替口座：00180-7-25470 加入者名：社会福祉法人 さぼうと21 ※通信欄に会費または寄付とご明記ください
三井住友銀行	目黒支店(普) 851872 名義：社会福祉法人 さぼうとにじゅういち
みずほ銀行	目黒支店(普) 1180279 名義：社会福祉法人 さぼうとにじゅういち ※銀行振込み後は事務局までご一報ください

お問い合わせ

社会福祉法人 さぼうと21

住所：	〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル6階	
TEL：	03-5449-1331	
FAX：	03-5449-1332	
E-mail：	info@support21.or.jp	
URL：	http://www.support21.or.jp	

